

地域生活体験事業

NPO 法人 めぶきの会

この事業は、身体・知的に障害のある方々が、将来グループホームや一人ぐらしなど、自立した地域生活ができることを目的としています。

地域にある民間住宅で、ヘルパーの支援を得て食事づくりや宿泊の体験をします。自立をめざした生活体験をつむことで、実際の自立した地域生活に移行していくことができます。

ポイント

保護者(親)との生活からはなれ、必要な支援を得て、地域で生活する



地域でくらすライフスタイルをつくる

- ① 家族からはなれる体験
- ② 自分でわかり自分で決め自分でやってみる体験をつみ、自分の生活づくり
- ③ 自分の望む生活(ライフスタイル)を自分で選び決める
- ④ 生活体験を通じて、友人、支援者を得る
- ⑤ 実際にその人の地域生活に必要な支援の内容と量がわかり、必要な福祉サービスを組むことができる。

ヘルパーさんや仲間と 安心して
地域生活の体験にチャレンジできる

一人くらしやルームシェア
グループホームなど
自分のしたい生活を実現できる

利用方法

個別の利用が基本。個別の体験を積んでから複数での体験もできる。

- ・ 宿泊体験
- ・ 宿泊をとまなわなない体験

※個人の日常生活における生活体験であるので、単発・特殊なものではなく、継続・普段の生活をくずさない中で、親との生活でなくヘルパーさんとの自分の生活を組み入れていくことが重要。

支援内容

体験利用者、その家族と共に、体験プログラムをたてる。そのプログラムにもとづいて利用し、実際にどこにどのような支援が必要かを検討する。生活体験のステップをつみあげながら、体験プログラムをたてなおしていく。

地域生活に向けての流れ

※ 2ステップは、地域生活のシュミレーション。

自分が主体的に自立して地域で暮らすために、自分の住んでいる地域で利用できる福祉サービスを知ることが重要。利用するための役所での手続きや事業所との手続き、相談の仕方などを実際にやっていくのも体験事業の支援となる。 **今の私たちの地域＝静岡市のヘルパー利用制度で、安心して自分の生活を実現していけるだろうか？**

※ 3ステップ 自分をわかり支援してくれるヘルパーさん、友人などと
いっしょに、自分の望む生活をスタート

住む場所を決め、具体的な福祉サービス利用プランを組む。生活に必要なお金は、どのように計画立て管理するかなども、支援する人や機関と一緒に(支援チーム)相談してきめていく。

体験できる家

イルマーレ

静岡市駿河区小鹿2丁目31-10

メゾンビフォーレ 10B

問い合わせ・申し込み めぶきの会

TEL・fax 054-287-2606